

平成 28 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	日本事情	担当教員	安藤 郁美		
学年学科	3年 留学生	通年	必修	単位数	1 単位
学習・教育目標 (C-1) 30% (A-1) 70%					
授業の目標と期待される効果： この授業では、自分の身の回りのこと、日本の文化に関すること、日本の社会問題について学ぶ。それぞれについての知識を獲得することだけでなく、自分自身や自分の国の様子と対比しながら考えることで、日本と自国両方のより深い理解を目指す。 ① 日本に関することについて知識を得る。 ② 自分自身と日本社会について思考できる。 ③ 知っていることや自分の考えを他者に伝えられる。 ④ 他者との相互作用を通して、自己理解、日本に対する理解が深まる。			成績評価の方法： 前期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点＋普段の授業参加態度 100 点 後期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点＋普段の授業参加態度 100 点 学年：前・後期の重みを等しくし、合計し得点率 (%) で成績をつける。 ※授業参加態度は、授業中に日本語で話そう、書こう、他の人の話を聞こうという意欲が見られるか、振り返りシートの記述から自分の能力を適切且つ積極的に把握しようという態度が見られるかによって評価する。		
			達成度評価の基準： 授業内容の理解について、以下の項目に関する試験・課題に対して 6 割以上の正答レベルまで達していること。 ① 各課で扱った内容に関する理解確認問題に 6 割以上正しく答えることができる。 ② 各課で扱った内容に関して、日本と自分自身（または自分の国）を比較して説明したり、意見を述べたりすることができる。		
授業の進め方とアドバイス： この授業では日本と自分自身（または自分の国）を比べながら学習を進めていくため、自分が知っていることを積極的に発言することが求められる。それぞれの回で学んだことを記録するために、毎回振り返りシートを記入する。また、授業ではプリントを多く配布するため、保管するファイルを用意すること。受講者の興味関心に応じて、進度やテーマを適宜変更する可能性もある。					
教科書および参考書： プリント、辞書					
授業の概要と予定：前期					
第 1 回： オリエンテーション，私が知っている「日本」					
第 2 回： 私の町①					
第 3 回： 私の町②					
第 4 回： 私の町③					
第 5 回： 音楽の楽しみ方①					
第 6 回： 音楽の楽しみ方②					
第 7 回： 音楽の楽しみ方③					
第 8 回： 中間試験					
第 9 回： 人の名前，物の名前①					
第 10 回： 人の名前，物の名前②					
第 11 回： 人の名前，物の名前③					
第 12 回： ブラックバイト①					
第 13 回： ブラックバイト②					
第 14 回： ブラックバイト③					
期末試験					
第 15 回： フォローアップ（期末試験の解答の解説など），前期全体の振り返り					

授業の概要と予定：後期
第 1 回： オリエンテーション， 夏休みの思い出
第 2 回： わたしとスマホ①
第 3 回： わたしとスマホ②
第 4 回： 論文不正①
第 5 回： 論文不正②
第 6 回： 日本の交通①
第 7 回： 日本の交通②
第 8 回： 中間試験
第 9 回： 日本の社会問題①
第 10 回： 日本の社会問題②
第 11 回： 日本の社会問題③
第 12 回： 通過儀礼
第 13 回： おもしろい日本語① オノマトペ
第 14 回： おもしろい日本語② キャラ語， 方言
期末試験
第 15 回： フォローアップ（期末試験の解答の解説など）， 前期全体の振り返り

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 （優）	標準的な到達 レベルの目安 （良）	未到達 レベルの目安 （不可）
①	各課で扱った内容に関する理解確認問題に，ほぼ正確に（8割以上）正しく答えることができる。	各課で扱った内容に関する理解確認問題に，だいたい正確に（6割以上）正しく答えることができる。	各課で扱った内容に関する理解確認問題に，答えることができない。
②	各課で扱った内容について，自分自身や自国とかわらせながら述べるができる。	各課で扱った内容について，日本に関することを述べるができる。	各課で扱った内容について，ほとんど述べるができない。
③	聞き手が理解するのにほとんど（8割以上）負担を感じさせずに，知っていることや自分の考えを口頭で説明できる。	聞き手が理解するのに（6割以上）負担を感じさせずに，知っていることや自分の考えを口頭で説明できる。	知っていることや自分の考えを口頭で説明することができない。
④	授業で新しく学んだことについて，助けがなくても自ら深く内省ができる。	授業で新しく学んだことについて内省ができるが，一部支援が必要である。	授業で新しく学んだことについて，内省できない。